



◆**学習習慣の確立が課題!**

子どもの学力の向上には、学校の授業改善とともに、家庭での学習や読書、運動などの望ましい生活習慣が大切です。

本町の子どもたちは、以前からテレビを見たりゲームをしたりする時間が長い一方、学校の授業以外の勉強時間が短いという傾向があります。

今年度の調査では、中学生の「ゲームに費やす時間」が全国より短くなりましたが、「授業以外の勉強時間」は、依然として小・中学生ともに全国を大きく下回っています。(図3、図4)

テレビを見る時間やゲームをする時間を家庭で決めるなどして、子どもの規則正しい生活を促し、自発的に学習する習慣をはぐくみたいものです。

1日に2時間以上、テレビ、ゲーム、スマホおよび勉強をする割合
図4：中学校 図3：小学校

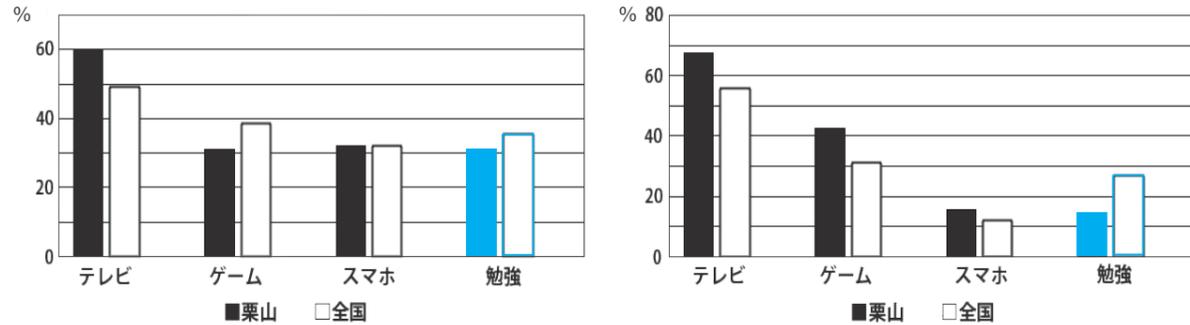
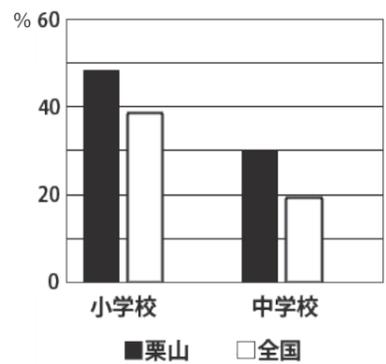


図5：週1回以上図書館を利用する割合



◆**図書館の企画への参加を促す!**

では、本町の子どもたちは、放課後や休日などをどのように過ごしているのでしょうか。

昨年の調査では、町の図書館や学校の図書室の利用は、一部の子どもに偏っている傾向が見られました。このようなことから町の図書館では、様々な企画を立て、子どもたちの参加を促してきました。その結果、週1回以上図書館を利用する子どもたちは全国を大きく上回りました。(図5)

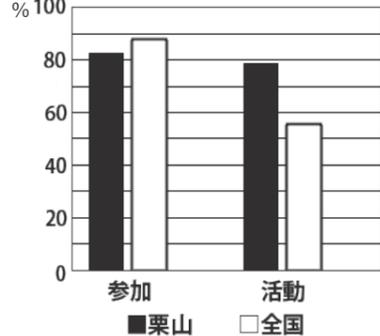
読書習慣は、日常の生活を通して形成されます。これからも、図書館の企画への参加や1日10分読書などの取り組みを積極的に進めます。

◆**望ましい生活習慣の確立を!**

教育委員会では、子どもたちが望ましい生活習慣を身につけ、自発的に学び、考える力をはぐくむ環境をつくるための家庭教育資料「家庭教育実践」、「学びのススメ」を作成し、配布しています。

家庭での学習や運動、読書などの望ましい習慣づくりに活用してください。

図6：部活動への参加率と1日2時間以上活動する子どもの割合



一方、中学校の部活動に参加する本町の子どもたちは、全国とほぼ同じ割合です。しかし、1日2時間以上活動する子どもは、全国に比べ23ポイントも多く、本町の部活動が長時間に及ぶ傾向が顕著です。(図6)



よく学び、よく遊び、健やかにたくましく育つ
栗山の子どもたちの学力と新学習指導要領

栗山町生涯学習情報

マナビイ

栗山町教育委員会
総合福祉センター「しゃるる」
TEL72-1117 FAX72-6522

◆**学力は着実に伸びています!**

栗山の子どもたちが健やかにたくましく成長することは、私たち大人の共通の願いです。

文部科学省は毎年、全国の小・中学生を対象として「学力・学習状況調査」(小6、中3)と「体力・運動能力、運動習慣等調査」(小5、中2)を実施しています。

今回は、「平成29年度全国学力・学習状況調査」の結果から栗山の子どもたちの学力や学習の状況と4月から実施される新しい学習指導要領の概要をご紹介します。

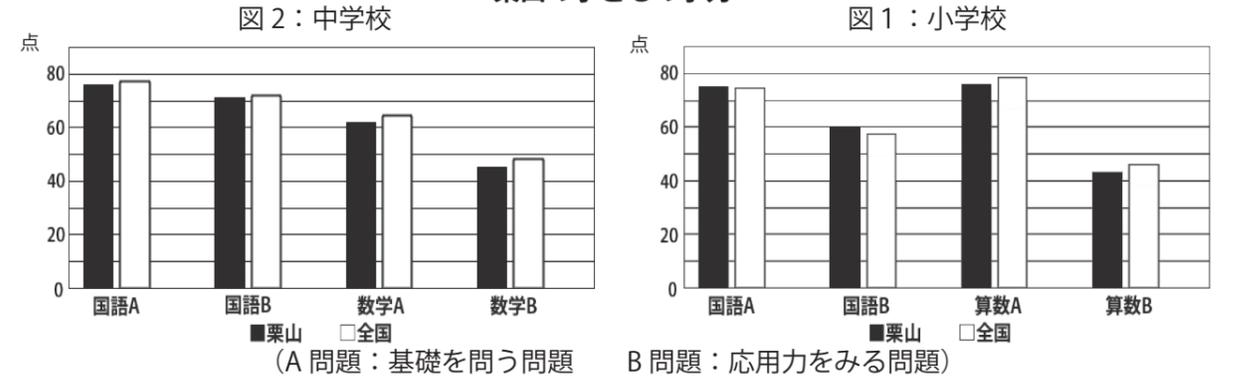
なお、「体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果については、マナビイ5月号でお知らせします。

◆**学力は着実に伸びています!**

小学校の調査結果では、基礎を問うA問題で全国平均を上回り、応用力をみるB問題でもその差が3ポイント以内になっています。(図1)

また、中学校の調査結果では、4科目とも全国の平均を下回りましたが、その差はいずれも3ポイント以内で全国平均とほぼ同じ状況にあります。小中学校とも、ポイントの前年度より増え、栗山の子どもの学力は着実に伸びてきています。(図2)

栗山の子どもの学力



◆**「考える力」の育成が課題です!**

本町の小・中学校では、授業のはじめに学習のねらいや目標を示し、授業の終わりには学習内容をしっかり振り返らせる授業づくりを徹底しています。

その結果、子どもたちは学習内容を意識するようになり、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得するようになりました。

しかし、「意味をとらえてまとめる」、「自分の考えを書く」、「判断の理由や解決の方法を説明する」などの記述問題では無回答が多くみられました。

子どもたちが問題意識をもって粘り強く「考える力」をはぐくむことが課題となっています。



4月から新しい学習指導要領に変わります！

「新しい時代に必要な資質・能力」を育みます

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性の涵養

何を理解して、何ができるか
生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力の育成

文部科学省は、子どもたちがこれからの時代に求められる資質や能力を育成するために、小・中学校の新しい学習指導要領を公示しました。

小・中学校では、指導内容や時間などを見直し、新しい教育課程（教科などの教育計画）を編成し、教育活動の一層の充実をめざしています。

◎新しい学習内容にスムーズに移行します

※教科の内容や学習する学年がこれまでのものと少し変わります。

	移行期間	完全実施
小学校	平成 30～31 年度	平成 32 年度
中学校	平成 30～32 年度	平成 33 年度

◎育てたい資質や能力を明らかにします

・「何を学ぶか」、「どのように学ぶか」を大切に、「何ができるようになるか」を示し、学びの質を高めます。

◎「特別の教科 道徳」が実施されます

- ・これまでの「道徳の時間」が「特別の教科 道徳」となり、教科書を使用し、問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れます。
- ・道徳性の育成をめざして、深く考えたり、議論したりする道徳の授業を通して、一人一人のよさを伸ばし、成長を評価（文章記述）します。

※小学校では昨年から通知表に評価（文章記述）を記載しています。中学校では今年から同様の評価を行います。

◎「外国語活動」、「外国語」が実施されます

- ・外国語活動：3～4年生、週1時間（年35時間）
- ・外国語：5～6年生、週2時間（年70時間）

※担任の先生がALT（英語指導助手）と一緒に授業を進めます。

◎小学校3～6年生は、週あたりの授業時間が増えます

- ・3年生は週28時間、4～6年生は週29時間の授業になります。
- ・学校の日課表や週の時間割、年間計画（行事）などが変わります。

※本町では夏冬休みの期間（合わせて50日）や春休み（学年始・末休業日）はこれまでと変わりません。

◎これまでと同じ程度の土曜授業を実施します

- ・小学校：年5回、15時間以上の土曜授業を実施します。
- ・中学校：小学校と同程度の土曜授業が実施できるよう条件を整備します。



◆**栗山に学ぶ学習活動と学力向上!**

本町の小・中学校では、「総合的な学習の時間」などにおいて、本町の自然や歴史、文化や産業を学ぶ体験的な学習を取り入れ、子どもたちの「やる気」や「意欲」、「自らを大切にすること」、「他を思いやる心」の育成に大きな効果を与えています。

特に、小学校では、「自分たちで計画を立てて調べ、まとめ、発表する」学習や「地域の人から直接学ぶ」学習に取り組んでいるとする子どもの割合は、全国を30ポイント以上も上回っています。

その結果、「地域行事に参加している」、「地域や社会のできごとに関心がある」、「地域のことを考える」子どもの割合はいずれも全国を大きく上回り、「人の役に立つ人間になりたい」と考えているのです。（図7、図8）

教育委員会では、このように栗山の教育資源や人材を活用した教育活動が、栗山に生まれ、育ち、学ぶことに自信と誇りを持つ心豊かな子どもをはぐくむとともに、やる気や学習意欲を高め、確かな学力の向上につながっていると考えています。

地域や社会に対して興味・関心がある子どもの割合

図8：中学校

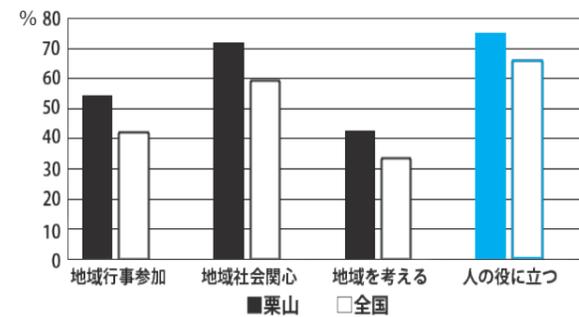


図7：小学校

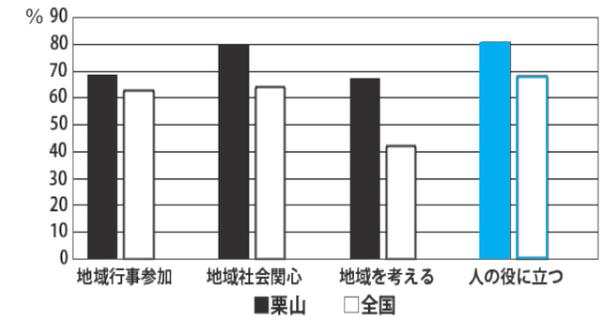
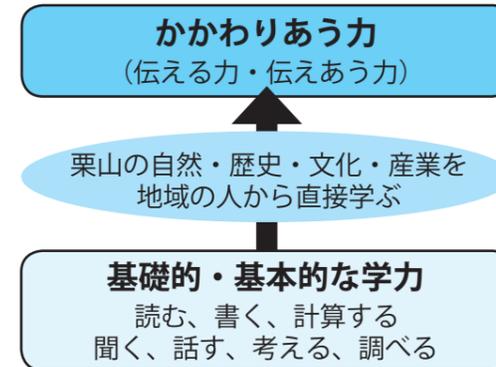


図9：栗山がめざす学力



◆**栗山がめざす学力!**

教育委員会では、基礎的・基本的な学力の徹底を図り、子どもたちが「他とかかわり合う力」をしっかりと身につけていくことを大切にしていきます。（図9）

「土曜授業」や「キャリア教育」では、本町の自然や文化などの教育資源を積極的に活用し、地域の皆さんとのかわり合いを通して『ふるさとを伝える子ども』の育成をめざしています。

◆**4月から新しい学習指導要領が始まります**

さて、文部科学省は、昨年、小・中学校の新しい学習指導要領を公示しました。それは、「社会に開かれた教育課程」を通して、子どもたちが「主体的、対話的で深い学び」のある学習を進めることをめざしています。

本町教育委員会では、保護者や地域の皆さんと連携・協力し、「地域とともにある学校づくり」を進め、子どもの学力向上に一層努めてまいります。

なお、高校の学習指導要領も改定され、平成34年度から完全実施されます。併せて平成32年度から「大学入試共通テスト」が導入されます。



女子ゴルフ

田村 亜矢選手に聞く

「町スポーツ推進委員がインタビュー」

昨年からはプロゴルフ界で活躍している田村選手。本町の女子プロゴルファーとして今後の活躍が期待されます。このほど、町スポーツ推進委員が田村選手に今後の抱負などについてインタビューしました。スポーツ好きな子どもたちや保護者の方の励みになれば幸いです。



【プロフィール】
 たむら あや
 ◆所属 大東建託株式会社（東京都）
 ◆生年月日 1997年4月15日（20歳）
 ◆出身校 東北高等学校（宮城県）
 ◆家族構成 両親、姉2人、兄、弟
 ◆目標とする選手 宮里 藍選手
 ◆プロを目指すきっかけ
 小学3年生の時に、全日本小学生ゴルフトーナメント北海道大会で優勝したこと

■家族のことを想うと頑張れる
 「ゴルフを始めたきっかけは幼い頃、父のゴルフの練習と一緒にやって行っていたことが楽しくて、自分もやってみようと思うようになりました。」

「田村選手にとって家族とは兄弟が多く、とても仲の良い家族です。離れ離れに暮らすようになったとき本当に寂しく感じましたが、その分これまでどれだけ家族に助けられていたのかが改めてわかりました。大好きな家族のことを想うと一層力が漲ります。」

「今シーズンの意気込みはまずは一勝することが目標です。ルーキーとしての一年になります。予選を通るだけではなく、自分の力で後半戦の出場権をつかみたいですね。」

■好きな気持ちが原動力に
 「ゴルフを始めて一番辛かったことは小・中学生のとき、ゴルフの練習のため、同級生の友人たちと一緒に遊んだりすることがなかなかできなかった時期は寂しくて少し辛かったです。ですが、その分大会で上手くなったときや父に褒めてもらったときは本当に嬉しかったです。」

「今後目指していくプロ像はプロゴルファーとしての確かな技術を磨いていくことはもちろん、一社会人として、社会の中でいろいろなことを学んでいきたいです。笑顔で大切に、宮里藍選手のような人に好かれるプロゴルファーになりたいです。」

「プロを目指す、ジュニア選手たちへひとこと
 プロになるためには、練習あるのみです。一生懸命になればなるほど、必ず辛いときはありますが、好きであるならばあきらめずに続けていくべきです。好きな気持ちが必要後押ししてくれます。夢に向かって頑張ってください！」

「応援する栗山町の皆さんへ
 道内での大会の際は、テレビ中継もありますのでぜひ応援をお願いします！」

■今年参戦する主な大会（予定）
 ○ダイキンオーキッドレディースゴルフトーナメント
 （沖縄県：3月1日～4日）
 ○ニッポンハムレディースクラシック（函館市：7月6日～8日）
 ○北海道meijiカップ
 （北広島市：8月3日～5日）
 ○ニトリレディースゴルフトーナメント（小樽市：8月23日～26日）

田村亜矢選手直筆サイン色紙プレゼント（抽選3名様）

◆募集期間
 3月1日（木）～31日（日）
 ◆応募方法
 左記問い合わせ先に申込み
 ◆問い合わせ先
 町教育委員会社会教育グループ
 ☎⑦1117・FAX⑦6522



楽しく体験!! 町民ふれあい講座

趣味を広げてみたい方のための講座を開きます。お気軽にご参加ください。

「マクラメで作るタペストリー」講座

紐と紐を指先で結び合わせて編むマクラメ。今回は基本の結び方でタペストリーを作ります。



- ◆日時 3月25日（日）
午後1時半～3時半
- ◆受講料 800円
- ◆持ち物 はさみ、作品持ち帰り用袋
- ◆定員 10人
- ◆講師 北条 さとみさん
- ◆申込期限 3月19日（月）

長期講座「リズム体操」



軽快な音楽に合わせて楽しく体を動かします。汗をかいてストレス解消、心もからだもすっきりリフレッシュしませんか！

- ◆日時 4月から平成31年3月までの第2、第4月曜日（月2回）
- ◆受講料 200円（毎回）
- ◆持ち物 長いフェイスタオル、運動靴、飲み物、ヨガマットまたはバスタオル（必要であれば着替え）
- ◆講師 フィットネスインストラクター 大場 杏さん
- ◆申込期限 3月31日（出）

共通

【場所・申込先・問い合わせ】
 カルチャープラザ「Eki」
 ☎③3333

図書館へ行こう!!



手作り絵本展

1月に開催した「手作り絵本作家になろう」で子どもたちが作成した絵本を展示します。

【期間】3月6日（火）～3月18日（日）
 【場所】町図書館 絵本コーナー

栗山ふるさと文庫16号「歴史を刻む」発行

栗山にゆかりのある方を対象に、編集委員が聞き書きをしてまとめました。100冊限定（無料）で、ご希望の方に先着順でお渡します。ご希望の方は、受け付けで氏名・ご住所をご記入ください。

【申込受付開始】3月7日（水）より
 【受付場所】町図書館、角田・継立図書室

ブックマラソン開催!

本1冊貸出につきスタンプを1個押せます。スタンプをためるとプレゼントがもらえます。

※スタンプは1日最大3個までです。
 【期間】3月13日（火）～4月22日（日）
 【場所】町図書館、角田・継立図書室、移動図書館くりくり号

ブックリサイクル市

図書館で不用になった小説や雑誌、絵本などを無料でお譲りします。

【期間】3月25日（日）10:00～13:00
 【場所】町図書館 視聴覚室、ギャラリー
 【冊数】1人20点まで
 雑誌の付録、ビデオなど1人1点

【問い合わせ】町図書館 ☎72-6055

ふるさと自然教育通信

ふゆの☆空ハイク

【日時】3月10日(土) 18:00~20:00
【内容】星明りの下、スノーシューでハイキング
【服装】防寒着上下、帽子、手袋、雪が入らない丈の長い防寒靴
※夜の活動のため特に手足の防寒にはご注意ください。

イグルーづくり

【日時】3月11日(日) 9:00~15:00
【持ち物】昼食、水筒、雪遊びのできる服装、替えの手袋、着替え

— 共通 —

【集合場所】ハサンベツ里山センター
【対象】小学3年生以上
※3年生未満は保護者同伴です。

【参加費】1人1,200円
【申込期限】3月9日(金)
【申込先・問い合わせ】

雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス
☎・FAX 72-1696



ニュース トピックス NEWS & TOPICS

出場全4チームが全道で激戦奮闘 北海道子どもかるた大会

札幌市定山溪ビューホテルで開催された「北海道子どもかるた大会」に、本町から空知大会を勝ち上がった全4チーム20人が出場しました。これまで、全道大会には本町から最大3チームが出場していましたが、4チームが出場するのは初めての事です。小学生の部、中学生の部ともに各32チームが出場。小学生の部では「大聖の昇竜」が準優勝し、「角田月組」が3位。中学生の部では「大聖の桜華」が初優勝を成し遂げ、「角田花組」がベスト8に入賞しました(2月18日)。



牛田克彦版画作品巡回展

元栗山小学校教頭の牛田克彦さんが昭和20~30年代の暮らしを描いた版画作品を展示します。

【共通】
【時間】午前9時~午後10時
【入場料】無料



◆カルチャープラザ「Eki」

【期間】3月10日(土)~14日(水)
【期間】3月16日(金)~21日(祝)
※日曜日は午後5時までです。

◆農村農村環境改善センター

【期間】3月23日(金)~28日(水)
※月曜日は休館です。
※日曜日は午後5時までです。

町教育委員会社会教育グループ
☎ 11117

工房体験教室事業 ペーパーウエイト教室

【日時】3月24日(土) 午後1時半~3時半
【場所】あさひ工房 工作室
※総合福祉センター「しゃるる」の隣です。

【内容】石に好きな絵や模様を描く「ストーンアート」を体験。完成した作品はペーパーウエイトとして利用したり、置き物としてそのまま飾れます。



【対象】町内在住の小学生以上の方
【定員】20人(先着順)
【材料費】500円
【持ち物】絵筆、消しゴム、作品持ち帰り用袋、履き物

※色落ちしにくい絵の具を使用しますので、汚れても良い服装でお越しください。

◆講師 イラストレーター

〔遊筆庵〕藤島 亮さん
【申込期限】3月12日(月)

町教育委員会社会教育グループ
☎ 11117・FAX 72-6522

国際交流のつどい

町が毎年実施している少年ジェット「希望の翼」海外派遣研修や赤十字国際活動報告、また、インバウンドモニターツアーの取り組みと外国人との交流における町の課題など意見交換を行い、これからの国際交流を町民皆さんと考えます。

【日時】3月24日(土) 午後2時

【場所】総合福祉センター「しゃるる」

◆内容

- 少年ジェット「希望の翼」海外研修報告について
少年ジェット希望の翼派遣団
赤十字国際活動について
栗山赤十字病院理学療法士 鈴木 聡子さん
インバウンド向けモニターツアーを実施してみよう
外国人との交流における栗山町の課題

町教育委員会社会教育グループ
☎ 11117

平成29年度 いきいきスクール活動報告

いきいきスクールは「豊かな知識と社会参加」「心の友と交流する喜び」「体と心の健康」を目的に、今年度は60歳以上204人の受講生が年間6回の活動をしました。今年もたくさんの学び、すてきな出会いがありました。新年度は4月に募集を行います。「一緒に「いきいき」しましょう！」



【秋のバス研修】北海道立近代美術館で芸術に親しみました(10月4日)。



【こころの健康づくり講演会】「花のいのち人の心」
↑男性もお花を活けて花育を学びました(9月7日)。



【学校祭】
↑受講生皆さんの「すてきな」発表の場です(9月7日)。

松原記念奨学金基金 奨学生募集

経済的な理由により就学が困難な方に対して奨学金を給付します。

【対象】町民もしくは栗山高等学校卒業業者で高等専門学校4・5年生および大学、大学院専修学校に在学ならびに入学予定者

【奨学金】月額3万円(年額36万円) 年4回支給(返還の必要なし)

【選考方法】基金運営委員会でする選考の上、本人に通知(6月上旬)

◆応募手続き

- 次の書類を在学する学校長の推薦を経て、町教育委員会に提出
①奨学生願書
②奨学生推薦書
③学業成績証明書の写し
④世帯の収入の分かる物(源泉徴収票など)

◆申込期限

4月27日(金)
◆その他 奨学生は4回目の支給後、近況報告・学業報告が必要

町教育委員会社会教育グループ
☎ 11117